·で湯湧

もすがら感激はてない湯湧く郷の 宴 は

は

感激の 涙 あるれて を表する これの ゆる ながずき なるだ 春の ゆる ながずき なるだ あるれて かげ さかづき かの 涙 あふれて

たいでは、これのようでは、 でもすがら感激はで をとし ぐ 神気 たる はいし ぐ 神気 からまっ はいし ぐ からまっ はいし ぐ

林時雨れ

飕りし

埋の響と闇にきえゆくな の悲歌の調べは

楡^ゕ 鐘ャ

自治と自由の高き 誇を即ふなり かたみ うとげ かんなり かたみ うとげ かんなの 宴

を

さび しらに

秋深みゆく静寂の都

際涯なき雪の荒野に こうこう へうへう 々の 々と月光冴ゆるこう っきかげさ 暴風おさまり

郭公の啼声もはるかかっこう。これまれるかっこう。これまれる。

ŋ

啼声もはるかに

魂はい

は虚空に走せて

りて

のこりの春を惜しまざらめや

いざ寮友よ

こくう

は

紺青の入相の空

住昔の意気を慕いる

Ž

残春あはきポット あんしゅん あんしゅん あんしゅん おんしゅん かし

のせせらぎ

春あはきポプラ並木よ

(大の世の (大の世 (大の世) (大 (大 ((大 ((大 ((((大 (((((((き 運 命 ぞ 明 日す · の 旅 路

ば

大衆先は毅き曠い 人に然が野 ここ暫し休息もとめて慨世の 憂 はあれど いなる野心育 で高 の崇き訓戒に たり若き生命よ Ŧi. ふ恵はいてき む の健児

Ш 城 崎 鷹雄 善陽 君 君 作 作 Ж 歌